



ここには神社が2つある。道並神社と判官神社という。判官様は源九郎判官義経霊を祭神とし、土居から迎えて来た神様で礼をもって迎えて来たのだから、神殿の立派なこと。彫り物がすごい。まず立体的で密な龍に目がいく。見ていたら5つの動物を発



判官様の神殿

なるを辞書で引くと、「山側の平坦地、山などの平らなところ」とある。基盤整備された水田が広がり、見通しの良い地形で、奈路と奥奈路と2つの字があるが、常会は1つで37世帯が暮らしている。水田は東又北部土地改良区を設立して工事を行ったもので、近代的営農基盤として完成されたほ場が続いている。この地域でも後継者不足が問題となっているので聞いてみた。「若いもんが半分くらい就農している」とのこと。用水は上に池が2つあり、何とか心配はない。そんなほ場でヒノヒカリという品種の米が主に栽培されている。「この地区も他と同様猪柵に守られて・・・である。」

枝の反りを上方修正と思い、池も2つ、神社も2つと2つ揃いの多い地区。2個2個はニコニコ。それにはコピーの飲める所があり、店の名は「ソラシド」と読み右肩上がり。師走に思うは、来年の良き年。皆さま方の新春がニコニコで右肩上がりでありますように、お祈り申し上げます。

境内のつくばね榎も見ごたえがするが、この地にはもう1本大樹がある。銘を「奈路の神明杉」といい、根回り6・5m、樹齢500余年とある。幹の下部より四方八方に枝葉を伸ばし、しかもその姿がいい。枝は下方に向っているものの途中からは、上に伸び貫禄と生命力が感じられる。



奈路の神明杉

見した。まずは龍、象、雁、燕に5つ目はたぶん犬だろう。この地を通りかかったら判官様の神殿で動物探しをしてみたいかがでしょうか。現在はH鋼で柱を建て、神殿そのものを屋根で覆い保社している。

町のうごき	10月31日)		人口		前月比		出生		死亡		転入		転出		
	男	女	計	世帯数	1	2	男	女	計	4	6	13	10	17	11
	9,297	10,414	19,711	8,830	1	3	9	5	20	6	14	30	21	17	11
												10月中の届出)			

  

四万十川の水質状況	適正值 mg/L		10月6日	
	リン酸	硝酸	測定値以下	0.734
	アンモニウム	アニオン活性剤	測定値以下	0.500
	化学的酸素消費量		1.0	1.921

調査：大正（吾川）  
資料：四万十高校自然環境部

四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

広報『四万十町通信』はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)